毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

問 保健予防課（TEL 352-0595　FAX 351-3304）



検査について

エイズの基礎知識について

12月1日は世界エイズデーです

エイズのまん延防止と、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、12月１日を世界エイズデーとして、啓発活動が行われています。

エイズとはHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染し、免疫力が落ちた結果、健康な状態なら抑えることができる病気を発症した状態をいいます。HIVの感染力は弱く、日常生活では感染しません。HIVに感染しても、早期発見・治療によりエイズの発症を防ぐことができ、感染していない人と同等の生活を送ることができます。一人ひとりが、感染の有無を知り、適切な治療につながれば、新たな感染を防ぐことができます。四日市市保健所では、無料・匿名・予約不要で検査できます。

このように医療が進歩し、啓発活動も行われていますが、今もなお、職場や医療現場などで差別的な対応を受け、つらい思いをしている人がいます。差別や偏見を解消するためには、HIV／エイズを正しく理解することが重要です。そのうえで、誰もがいつでも検査や相談ができるように、一人ひとりの思いや経験に耳を傾け、お互いを尊重し合える社会を目指していきましょう。

市長の全力取材！ vol.67



ライトアップされた臨港橋



にぎわう会場

四日市港の魅力再発見！

10月４日に、四日市港発祥の地である四日市港四日市地区で、「第５回よっかいちBAURAミーティング」を開催しました。日中はSUPやカヌー、カッター、ゆりかもめ乗船体験といった水上アクティビティが実施され、多くの人に四日市地区の水辺の有用性を実感してもらいました。また、夕方からは、夜の部「BAURAの夜市」を千歳運河沿いの野積場（のづみば）で開催しました。DJによる音楽イベントをはじめ、キッチンカーや物販、グリーン装飾などが実施され、末広橋梁や臨港橋、会場隣の倉庫がライトアップされました。運河沿いという四日市地区ならではのロケーションを生かして、音楽や食の文化を組み合わせた夜市は、若者を中心に多くの来場者でにぎわい、SNSなどでこの場所が持つ空間的な魅力を発信していただくなど、四日市港の夜の力を感じました。

現在、本市では、中心市街地再開発プロジェクトを進めており、このプロジェクトにより創出されるまちなかのにぎわいが、四日市港四日市地区のにぎわいにつながるように、今後も官民一体となってみなとまちづくりに取り組んでいきます。